
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 5 月 11 日 第 357 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 5 月 25 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・「福岡空港国際線旅客に関する協議会」を開催～バス、タクシー等空港アクセス改善に向けた取組を推進～
- ・北九州港オリエンテーションが開催されました～九州運輸局の仕事と役割を説明～
- ・2017 吹上浜砂の祭典開催される～100 個を超す砂像は圧巻～
- ・第 56 回博多どんたく港まつり 開会式典～来賓として岩本局次長出席～
- ・「宮崎みなとまつり 2017」が開催される～クルーズ客船の魅力と内航海運の役割をPR～
- ・宮崎港で練習船「日本丸」の見学会を開催しました～県立海洋高校の生徒が乗船体験～

2 お知らせ

- ・グリーン経営推進講習会を開催（取組事例も紹介）します！
- ・船員労働災害防止優良事業者（一般型 1 級及び 2 級）の募集について

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

◆「福岡空港国際線旅客に関する協議会」を開催

～バス、タクシー等空港アクセス改善に向けた取組を推進～

◎昨年（平成 28 年）の福岡空港国際線の利用者が約 499 万人と平成 25 年の約 312 万人に比べて約 1.6 倍と急増している状況に対応するため、4 月 27 日（木）に関係行政機関、交通事業者、空港関係者とともに、「福岡空港国際線旅客に関する協議会」を開催しました。

◇内容

- ・3 月 15 日に同協議会（幹事会）を開催し、現在の福岡空港の概況、今後の空港整備計画を確認した上で、福岡空港国際線ターミナルのアクセス課題を参加関係機関の間において意見交換し、協議会として改めてアクセス改善へ向けた取組の必要性を確認。
- ・4 月 27 日、多客期（GW）を前にして、幹事会開催以降に参加機関において緊急に取り組まれた対策や今後に向けた現在検討中の内容の情報交換等を行いました。
- ・短い期間ではありましたが、できることをできる限り取り組もうと各機関で検討いただき、GW 前に実現できる対策や期間中に実施されたアクセス改善への取組とし

て、国際線ターミナルを発着するバスの新規路線開設や増便、時間帯の拡大、タクシーの案内標識やコンシェルジュの配置等の改善、空港内の連絡バスの利便性の向上などの内容が報告されました。

・また、各機関によるアクセス改善内容の情報発信などへの協力体制も確認されました。

◇九州運輸局からのメッセージ

・今後、滑走路の増設などの空港整備が、平成36年度末の供用を目指して計画されており、ますます旅客数の増加が見込まれています。

・今回の取組を検証しながら、福岡空港を利用される訪日外国人旅行者が、九州を始めとした各方面をよりストレスなく移動いただける環境が整備されていくよう取り組んで参ります。

◇会議の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_357_1.pdf

◆北九州港オリエンテーションが開催されました

～九州運輸局の仕事と役割を説明～

◎福岡運輸支局門司港庁舎では、4月26日、27日に開催された「北九州港オリエンテーション」に参画し、北九州市内の海事関連企業に就職した新人社員ら約140人を対象に「九州運輸局の仕事と役割」について説明を行いました。

◇内容

・北九州港オリエンテーションは、(一社)北九州港振興協会が会員企業に就職した新人社員等を対象に、港湾業務の基本を学ぶことを目的として平成5年から毎年開催されているものです。

・25回目となる今年は北九州市門司区の旧大連航路上屋ホールで開催され、海事関係官公庁等6機関の講師による講義のほか現地視察等も行われました。

・当運輸支局は、九州管内の旅客船、内航海運、港湾運送、倉庫、造船などの事業を紹介したDVDの視聴を交え、九州運輸局のパンフレット等を使用して組織や役割、重点施策について45分間の説明を行いました。

◇福岡運輸支局門司港庁舎からのメッセージ

(一社)北九州港振興協会様のご配慮により、貴重な時間を提供頂きありがとうございました。九州運輸局では海事思想の普及や海事産業の周知に関する活動も行っています。今後もこのような活動を通じて港の発展につながるよう取り組んでまいります。

◇北九州港オリエンテーションの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_357_2.pdf

◆2017 吹上浜砂の祭典が開催されました

～100個を超す砂像は圧巻～

◎鹿児島運輸支局では、5月3日(水)から開催される2017吹上浜砂の祭典に先駆

け、4月30日（日）に実施された「砂の彫刻国内選手権大会」の審査委員長として出席しました。また、同祭典の開催初日に実施された表彰式には、観光部から観光庁長官賞のプレゼンターとして出席しました。

◇内容

- ・2017 吹上浜砂の祭典は、1987年（昭和62年）に旧加世田市の町おこしから始まり今年で30回目の節目にあたり、今年の大会への参加者は10組、なかには家族で参加する団体も。
- ・作品の審査は、審査員7名による芸術的価値、技術的価値、構成とデザインの3項目からなる各ポイントの合計点で、優勝（吹上浜砂の祭典実行委員会会長賞）、準優勝（観光庁長官賞）、3位（鹿児島県知事賞）、特別賞（南さつま市長賞ほか）を決定。
- ・大会審査員は、海外から招待された砂像彫刻家4名に、南日本放送、南日本新聞社、九州運輸局のそれぞれ1名で構成。

◇鹿児島運輸支局からのメッセージ

- ・厳正な審査の結果、1位となった作品は彫刻家の方が満点を付けていた作品でしたが、私も1位に推していたので審査委員長（形だけの）としての面目躍如といったところ、ほっとしました。
- ・この祭典は、5月31日まで開催されています。100個を超す砂像は一見の価値あり。多くのイベントも用意されていますので足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

◇2017 吹上浜砂の祭典の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_357_3.pdf

◆第56回博多どんたく港まつり 開会式典

～来賓として岩本局次長出席～

・5月3日（水）、ゴールデンウィーク期間中に全国一の人出を誇る国内有数のお祭りである福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」の開会式典が、博多港中央ふ頭イベントバースで開催されました。

・九州運輸局では、例年、同式典に来賓として出席しており、今年度は、岩本九州運輸局次長が以下の次第のとおり出席しました。

1. 博多どんたく港まつり開会宣言（港まつり世話人会会長）
2. 国歌斉唱
3. 主催者挨拶（福岡市民の祭り振興会名誉会長及び同会会長）
4. 来賓挨拶（福岡市民の祭り振興会顧問）
5. くす玉開き（来賓・九州運輸局次長他6名及び主催者・福岡市長他3名）
6. 福岡親善大使（3名）及びクァンタム・オブ・ザ・シーズ船長等紹介
7. 各地のミス紹介（佐賀市、大分市、鹿児島市、宮崎市、薩摩川内市、大牟田市）
8. 万歳三唱
9. どんたく若者委員会「はかたしよんがね」によるダンス

・九州運輸局は、「港まつり」世話人会会員としてこのお祭りに参画しており、今後も港の振興、地域の振興、観光振興のために市民の皆さんと一緒に大いに盛り上げていきます。

◇式典の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_357_4.pdf

◆「宮崎みなとまつり 2017」が開催される
～クルーズ客船の魅力と内航海運の役割をPR～

◎5月5日（金）、宮崎港（国際観光船バース）において、宮崎市（宮崎みなとまつり実行委員会）主催による「宮崎みなとまつり 2017」が開催され、宮崎運輸支局も「テーマ館」に出展しました。

◇内容

- ・「宮崎みなとまつり」は、市民はもとより県内外の皆様に「宮崎港」を広くPRし、「宮崎港」の利用促進と観光客の誘致につなげることを目的に今年で4回目の開催となりました。
- ・会場では、帆船「日本丸」のセイルドリルや大型客船による体験航海の他、「海鮮プロレス」をはじめとしたステージイベント等の色々なイベントが開催されました。
- ・宮崎運輸支局は「クルーズ客船」の魅力や「内航海運」の重要性を広く周知するため、「テーマ館」に出展してパンフレットや船のペーパークラフトを配布しました。

◇九州運輸局からのメッセージ

今後も各種イベントの開催時に併せ、クルーズ客船の振興を始め、内航海運の役割等を広くPRすることで、海事思想の普及に努めて参ります。

◇会場の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧下さい。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_357_5.pdf

◆宮崎港で練習船「日本丸」の見学会を開催しました
～県立海洋高校の生徒が乗船体験～

◎宮崎運輸支局では、独立行政法人海技教育機構の練習船「日本丸」が3年ぶりに宮崎港に入港した機会をとらえ、5月8日（月）に初めての試みとなる、宮崎県立海洋高校の生徒に対する同船の見学会を実施しました。

◇内容

- ・見学会には、宮崎県立海洋高校の3年生及び2年生の生徒41名と引率教師4名が参加。
- ・若年船員が不足している海運業について、船員への就職志望者を増やすための就業支援の一環として、実際に船内施設等を見学することにより、船員という職業に更なる興味を持ってもらうことを目的に開催。
- ・船内各所の見学（船橋、エンジンコントロール室、海面からの高さが50mに及ぶマストや実習生の生活スペース等々）

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・当日の様子は、地元テレビ局の取材もあり、ニュースで放送されたため、今回の取り組みを大きくPRすることができました。
- ・生徒たちは、日本丸乗組員の説明に熱心に耳を傾け、船の仕組みや船内での生

活について学んでいました。見学後、「自分たちの乗っている船とは違うことがいっぱいあり、全然知らないことがまだまだいっぱいあると思ったので、これから勉強していきたい。」「しっかり勉強して貨物船の乗組員になれるようにがんばりたい。」等の感想があり、本見学会の開催意義を感じることができました。

・今後も、練習船等の入港の機会をとらえ、見学会等を実施し、海運業の将来を担う優秀な人材の育成に向けて取り組んでいきます。

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_357_6.pdf

2 お知らせ

◆グリーン経営推進講習会を開催（取組事例も紹介）します！

九州運輸局では、バス・タクシー・旅客船・内航海運・港湾運送・倉庫・トラック事業者を対象に、鹿児島市において「グリーン経営推進講習会」を開催します。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_357_7.pdf

◆船員労働災害防止優良事業者（一般型1級及び2級）の募集について

船員の労働災害防止に向けた船舶所有者等の自主的な取組み対し、一定の条件に該当する船舶所有者を船員労働災害防止優良事業者として認定します。

認定の条件や申請方法等詳しくは、国土交通省 HP をご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr4_000018.html

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより ///
大型連休中、ゴールデンウィークに因んで福岡タワーがゴールドでライトアップされてきました。「これは編集部だよりにいいネタ見つけた。」と、シーサイドももち海浜公園へ出向きカメラを構えていたら、後方の式場（マリゾン）からプランナーさんの見送りを受け出てきたカップルが手を繋いで私の横を・・・、30年後も同じように歩いているのでしょうか。ばかな心配をしてしまった今年で結婚30年を迎える編集員でした。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_357_8.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
